

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 19 日

事務事業名		自転車用ヘルメット購入補助事業				事業区分		担当	
政策体系上の位置付け		新規/継続				事務事業No.		030101000149	
総合計画の施策名		単独/補助				所属課		090101	
政策名		主要事業				グループ		学校教育課	
施策名		市長マニフェスト				未来PJ事業		学校教育グループ	
基本事業名		合併建設計画事業				事業期間		単年度繰返し (年度~)	
財務会計上の位置付け		一般会計				事業期間		単年度繰返し (年度~)	
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	小学校管理事業		
01	10	02	01	02	00		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 児童の安全確保の観点から、各小学校で自転車運転の許可が出る学年(小3・小4)に上がる際に購入する自転車用ヘルメットについて、購入費用の1/2を市が負担をし、ヘルメットの着用を推進する。 平成24年度までは岩瀬地区のみの小学生が自転車運転時ヘルメットを着用していたが、平成25年度より大和・真壁地区の小学校においてもヘルメット着用を義務づけ、購入費用1/2を市が負担する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・各小学校での購入希望数のとりまとめ ・業者と契約し、学校教育課で一括して購入 ・ヘルメットを学校を通して配布 ・保護者負担金の納入

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・各小学校での購入希望数のとりまとめ ・業者と契約し、学校教育課で一括して購入 ・ヘルメットを学校を通して配布 ・保護者負担金の納入	児童数	人	2,238.00	2,173.00	2,093.00	2,000.00	2,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市内小学校のヘルメット購入対象学年の児童	購入対象学年の児童数	人	349.00	353.00	364.00	350.00	350.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ヘルメットを購入することで自転車運転時のケガを防止する	ヘルメット購入数	個	168.00	169.00	180.00	190.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	単	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
入	業	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	916	435	1,000	0	0	0
	事業費計(A)	千円	916	435	1,000	0	0	0		
量	人	件	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
			述べ業務時間	時間	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	
			人件費計(B)	千円	131	131	131	131	131	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,047	566	1,131	131	131			

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
	11 需用費	435		11 需用費	1,000	
	合計	435		合計	1,000	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	自転車用ヘルメット購入補助事業	事務事業No.	30101000149	所属課	学校教育課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 岩瀬地区の小中学校においては、以前より自転車運転時のヘルメット着用が義務づけられていたが、大和・真壁地区の小中学校では義務づけられていなかった。 平成24年度に自転車運転中の事故が相次いだこともあり、平成24年7月からは市内全ての中学校においては自転車運転時のヘルメット着用を義務づけた。また平成25年度からは小学校においてもヘルメット着用を義務づけ、児童生徒の安全確保に努めている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 補助を行うことで保護者負担を軽減し、ヘルメット着用の推進による更なる児童の安全確保が求められている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている この事業を行うことで、児童生徒の安心安全な教育環境づくりに結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒の安全確保は市の責務である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 平成24年度に全中学校、平成25年度には全小学校でヘルメット着用という形で成果を拡大させており、これ以上の成果の向上余地は無い。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ヘルメット購入に対する保護者負担が増加し、児童生徒の安全確保に影響が出ることが考えられる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業が存在しない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 学校教育課での一括購入など事業費を削減する工夫を行っており、これ以上の削減余地は無い。 最低限度の業務時間で行っており、削減余地は無い。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象児童全てに対して購入希望の調査を行っているため、受益機会は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果																						
	成果優先度評価結果 ②																						
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>